

1 訪問団体の概要

(1) 新潟県生徒会連盟

- ・令和4年10月の「世界津波の日高校生サミット in 新潟」に参加した新潟明訓高校の生徒が中心となって呼びかけを行い、新発田中央高校、東京学館新潟高校、北越高校を共同設立校として令和6年3月に発足
- ・「ぼうさいこくたい」では、パネル展示、セッション、ステージイベント登壇など50名以上の生徒が活動

(2) 公益社団法人 中越防災安全推進機構

- ・中越大震災を契機に防災・復興・地域活性化を目的として平成18年に設立
- ・「ぼうさいこくたい」では、ブース出展、防災関連施設を巡るバスツアー、セッションへの登壇等、様々な出展に広く協力して活躍

(3) 特定非営利活動法人日本防災士会・新潟県支部

- ・平時は小・中学校や地域への防災啓発活動、災害時は被災地でのボランティア活動、ボランティア活動支援、避難所運営等に取り組む。平成18年に全国団体の支部として設立
- ・「ぼうさいこくたい」では、プレイベントセッション登壇のほか、大会当日は、ブース出展、ワークショップ、セッション登壇などの活動を実施

2 津波防災の日・世界津波の日について

(1) 津波防災の日について

- ・平成23(2011)年6月に、津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定され、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、11月5日を「津波防災の日」に制定
- ・安政元年11月5日(太陽暦で1854年12月24日)に発生した安政南海地震で、紀州藩広村(現在の和歌山県広川町)を津波が襲った時、濱口梧陵(儀兵衛)が稲むら(取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの)に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなむ。



(2) 世界津波の日について

- ・世界中で津波によってもたらされるリスクに関する人々の意識を向上し、津波対策を強化するため、日本をはじめとする世界142か国の共同提案により、2015年12月の国連総会において、毎年11月5日を「世界津波の日」に制定

3 「世界津波の日2022 高校生サミット in 新潟」について

- ・「世界津波の日」を契機に、世界各国・日本全国の高校生が集まり、津波をはじめとする自然災害の脅威と対策を学ぶため、平成28(2016)年から「世界津波の日」高校生サミットを開催

- ・ 令和4年には本県で、地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」をより一層深めることを目的に、「若き津波防災大使スタディツアー」及び「『世界津波の日』2022 高校生サミット in 新潟」を開催
- ・ 自然災害の脅威を全世界の共通認識とし、世界中の人々が自然災害への意識を継続的に持ち続けられるように、サミット参加者が防災リーダーとなり、防災の輪を広げていくことを宣言する「新潟フェニックス宣言」を採択

『世界津波の日』2022 高校生サミット in 新潟 概要

- 1 開催日：2022（令和4年）年10月19日・20日
- 2 会場：朱鷺メッセ展示ホール
- 3 主催：新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会
- 4 テーマ：復興を力に、経験と教訓を世界へ
～雪国で育まれた助け合いの精神から学ぶ防災～
- 5 その他
 - ・ 大会議長は県立新潟高校と新潟明訓高校の2年生の生徒が務めた。
 - ・ 国内参加校は69校（うち県内高校20校）、海外からは19校参加